

16. 諸外国における公的債務管理政策の目的

図-18

米	<p>[注たる目標] 長期的に見て、可能な限り少ないコストで資金調達を行う。</p> <p>[5つの原則]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">無リスク」であるという国債の特質の維持</td> <td style="width: 50%;">予測可能性の維持 (入札日の定例化)</td> </tr> <tr> <td>流動性の維持</td> <td>多様な年限構成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金調達機能の統合化 (政府の各部門による資金調達は、財務省を通じて統合的に行われる。)</td> </tr> </table>	無リスク」であるという国債の特質の維持	予測可能性の維持 (入札日の定例化)	流動性の維持	多様な年限構成	資金調達機能の統合化 (政府の各部門による資金調達は、財務省を通じて統合的に行われる。)	
無リスク」であるという国債の特質の維持	予測可能性の維持 (入札日の定例化)						
流動性の維持	多様な年限構成						
資金調達機能の統合化 (政府の各部門による資金調達は、財務省を通じて統合的に行われる。)							
英	<p>長期的に見て、政府の資金調達コストを最小化すること。なお、この他、リスクを勘案すること、債務管理政策が金融政策と対立しないことを確保することが必要である (財政の安定化に関する規約「Code for Fiscal Stability」)。</p>						
仏	<p>[注たる目標]</p> <p>1. 市場を通じた調達 2. 納税者負担の最小化 3. フランス公債を欧州市場における中心的な債券にする。</p> <p>[5つの原則]</p> <p>1. 簡素</p> <p>2. 流動性</p> <p>3. 透明性 入札日程の標準化、 資金需要見込みの公表、 様々な情報の提供 (インターネット、通信社経由等)</p> <p>4. リスク管理 見通しと実績が乖離するリスク (「工業的」リスク)、 市場リスク、信用リスク、 オペレーション・リスク、電子システム・リスク</p> <p>5. 欧州市場におけるリーダーシップを確立するため、不断なき改革の精神を涵養</p> <p>[新しい目標] 平均残存年限の縮減を図る。</p>						
独	<p>最小限のコストで資金調達を行う。</p>						
伊	<p>[注たる目標]</p> <p>1. 国の資金需要の充足、債務借換の確保 2. 同一のリスク水準の下におけるコストの最小化</p> <p>[2003年度に掲げる4原則]</p> <p>1. 透明性 2. 入札日程の標準化 3. 予測可能性 4. 流動性 (市場の効率化等)</p>						